

令和八年度前期「宇治学コース」

◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》
で使えます

三月～五月の講座日に販売

◆定員 先着 二百名

◆申込み

講座日、会場で受付致します

事前申込み不要

◆問合せ

TEL 090・8988・4383

宇治市民大学事務局 丸山

◆注意

生涯学習センター専用の駐車場は
ありません

《テーマ》 宇治、芸能の中・近世と別業の残滓

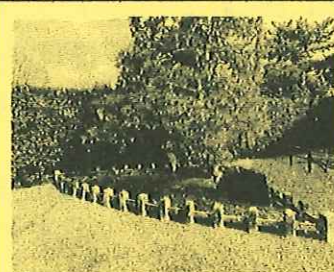
講座時間 午前 10 時～11 時 30 分

3/21(土)	なぜ宇治で田楽か ～宇治の芸能史～ 民族学者・芸能史研究家 山路 興造さん
4/25(土)	狂言『通円』とお茶 ～平等院、源頼政との不思議な因縁～ 大蔵流狂言師 茂山 千五郎さん
5/23(土)	藤原道長、不惑（40 歳）の思い ～木幡浄妙寺を建てる～ 古代学協会 客員研究員 野口 孝子さん
6/20(土)	百人一首の中の「宇治」、そして『源氏物語』 同志社女子大学名誉教授 吉海 直人さん
7/18(土)	ガイドブックに描かれた宇治 ～旅する光氏の世界～ 源氏物語ミュージアム学芸員 坪内 淳仁さん

【扇の芝】 (平等院 HP より)

治承 4 年（1180）5 月、以仁王（もちひと
おう）の令旨を奉じ、平家打倒を掲げた
源頼政は、宇治川にて平家軍に追撃され、
平等院で自刃した。

最後を迎えるにあたり、軍扇を広げて辞世
の句を詠み、西に向かい「南無阿弥陀仏」
と唱えたといひます。辞世の和歌
「埋もれ木の 花咲くこともなかりしに
身のなる果てぞ 悲しかりける」



(平等院提供)

会場 宇治市生涯学習センター

主催 宇治市民大学運営スタッフ会

共催 宇治市生涯学習センター

宇治市民大学

市民による、市民と地域のための大学



宇治市民大学 令和8年度前期講座

講師からのひとこと

3/21 なぜ宇治で田楽か

山路 興造さん

～宇治の芸能史～

当世の流行りものは、次の時代には忘れ去られる。平安時代から中世前期にかけて、人々が熱狂した「田楽」という芸能も、今やそれを知る人は少ない。毎年秋には、その「田楽」が、ゆかりの宇治で演じられる。「田楽」とはなにか。熱く語りたい。

4/25 狂言『通圓』とお茶

茂山 千五郎さん

～平等院、源頼政との不思議な因縁～

古典芸能「狂言」とは日本最古の喜劇であり、今でいうコントのようなものです。650 年近く愛され、親しまれてきた「狂言」の歴史や成り立ち、魅力を紐解いていきます。
また能楽「頼政」をパロディ化した狂言「通圓」の魅力も探っていきます。

5/23 藤原道長、不惑(40歳)の思い

野口 孝子さん

～木幡浄妙寺を建てる～

宇治市木幡には、浄妙寺というお寺がありました。これは藤原道長が、不惑の節目に建てた御堂で、跡地は、現在木幡小学校になっています。造寺のために一大プロジェクトが生まれ、良地は陰陽師の安倍晴明が占い、仏像は定朝(平等院阿弥陀仏の作者)の父康尚が担当しました。完成したとき道長は感極まって大号泣。この頃は一般的に墓所とお寺は別所にありましたが、道長は初めて墓所にお寺を設け藤原氏の先祖を供養し、新しい手法で一族の長であることを示したのです。その道長もこの地のどこかに眠っています。来年は、道長没後ちょうど一千年目！

6/20 百人一首の中の「宇治」、そして『源氏物語』

吉海 直人さん

百人一首には百人の歌人の歌が時代順に配列されています。その百人の中には『源氏物語』の作者である紫式部と大式三位母娘も入っています。さらには「宇治」を詠んだ歌も複数撰入されています。歌に詠まれた宇治は決して単なる地名ではありません。それらは自ずから『源氏物語』宇治十帖の世界を想起させる役割を担わされているのではないのでしょうか。そういった視点から、あらためて百人一首という作品の不思議さを考えてみませんか。

7/18 ガイドブックに描かれた宇治

坪内 淳仁さん

～旅する光氏の世界～

江戸時代後期、『源氏物語』を翻案した『修紫田舎源氏』が出版されました。人気を博した本書によって、主人公足利光氏は、宇治の茶摘みや螢狩りを楽しむなど、宇治の名所とともに描かれた錦絵の中に登場します。宇治だけにとどまらず、光氏は四條河原での夕涼み、竜田川での紅葉狩り、箱根での湯治など、各地の名所に現れます。本講座では、宇治をはじめとする名所とともに、錦絵に描かれた光氏を紹介します。

*「修紫田舎源氏(にせむらさきいなかげんじ)」